

令和8年度

災害対応特殊消防ポンプ自動車（CD - I 型）

仕様書

（いなほ消防署桜東分署配置）

稲敷広域消防本部

茨城県龍ヶ崎市 3571 番地の1

TEL 0297 - 64 - 3745

FAX 0297 - 64 - 6610



## 第1 総 則

- 1 この仕様書は、稲敷広域消防本部（以下「当消防本部」という。）が、令和8年度に購入する災害対応特殊消防ポンプ自動車 CD - I 型（以下「消防ポンプ車」という。）の艤装及び積載器具、その他必要な事項について定める。
- 2 車両の製作は、緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱（平成18年4月1日消防消第49号、以下「交付要綱」という。）に定める災害対応特殊消防ポンプ自動車として制作されたものを基本とするほか、この仕様書及び製作承認図等（契約後受注者にて制作すること。）によること。
- 3 消防ポンプ車は、動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令（昭和61年自治省令第24号）に定める規格及び道路運送車両法の保安基準に適合し、緊急車両として承認を得られるものとする。
- 4 契約にあたっては本仕様書を了承し、疑問な点は当消防本部担当者に質問し、十分熟知のうえ契約するものとし、契約後において生じた一切の質疑は、すべて当消防本部の解釈に従うものとする。
- 5 受注者は、契約後仕様書詳細について当消防本部担当者と打合せを行い、製作承認図等を当消防本部に提出し、承認を得て製作に着手すること。
- 6 受注者は消防ポンプ車製作にあたり、本仕様書及び承認図において変更、あるいは疑問な点が生じたときは、直ちに当消防本部に連絡の上、その指示を受ける図書等を提出し承認を受けるものとする。
- 7 本仕様書に明記されていない点は、メーカー公表の標準仕様とする。
- 8 製作に使用する全ての艤装材料及び資機材等は、JIS G 3101（一般構造用圧延鋼材）を使用し、最新型で新品を使用すること。
- 9 受注者は、製作全般にわたり厳重な検査を実施することとし、ISO 認証取得による品質管理システムにて製造が行われていること。
- 10 受注者は、設計、製作、材料、部品等に関し、特許その他権利上の問題が発生した場合は、その責任を負うこと。
- 11 同等品の申請は入札前の当消防本部が指定した期日までに、諸元・性能・価格等の比較表を提出して当消防本部の承認を得ること。なお、落札後の申請は認めない。
- 12 総務省の推進する ICT 政策の一環として、IoT システムを活用し、故障時の遠隔診断が行える機能を備えること。
- 13 受注者は、当消防本部立会いのもとで、艤装検査等必要な検査を受けること。

14 車両完成時には、「消防用車両の安全基準について」を満たしているかの検証のため、工場出荷前に下記検査を行うものとし、検査時の写真及び転覆角度実測証明書を納入時に提出すること。

- (1) 完成車重量測定検査
- (2) 完成車転覆角度検査
- (3) 完成車悪路走行検査
- (4) 完成車登坂走行検査

15 完成車両は、関東運輸局茨城陸運支局の行う新規登録検査に合格したものを納入することとする。

- (1) 納 期 令和9年3月26日（受注者の責によらない事由によって遅延の恐れがある場合は別途協議）
- (2) 納入場所 新規検査及び新規登録を受け、当消防本部に納入すること。
- (3) 登録諸費用 登録に関する一切の経費については受注者が負担すること。但し、自動車登録手数料、自動車重量税、自動車損害賠償責任保険料及びリサイクル料金は、当消防本部が負担する。
- (4) その他 但し、シャシモデルチェンジに伴うシャシ入手難や艤装材料の入手状況、昨今の働き方改革等の事由で納期内の納入が困難な場合は、遅滞することなく消防本部に報告し、納期延長について別途協議とすること。

## 第2 車両諸元

### 1 概要

消防ポンプ車は、下記シャシに高圧二段バランスタービンポンプ又は一段ボリュートポンプと600Lの水槽、消火泡圧縮吐出装置（以下「CAFS」という。）を装備し、河川、消火栓等より吸水し、強力な放水をもって火災に対し速やかに活動できるものとする。

### 2 使用シャシ

(1) 使用シャシは、令和8年に製造された3t級消防認定エンジン付き専用シャシ（4WD）とし、最新の排出ガス規制（新長期排出ガス規制）に適合したもので、CAFS搭載型消防ポンプ自動車の艤装に最も適したものを当消防本部と受注者が協議し、日本のメーカーより選定するものとする。

#### (2) 諸 元

ア 形 式	3t級消防車専用ダブルキャブオーバー型
イ エンジン	ディーゼルエンジン、ターボ付排気量4,000cc以上
ウ 工 率	110kW（150PS）以上
エ 駆 動	マニュアル又はオートマチックトランスミッション
オ 走行出力	150ps/2,500rpm以上
カ 検定出力	150ps/2,500rpm以上
キ 走行装置	4輪駆動 パワーステアリング装置
ク 懸架装置	リアサスペンションを従来よりも強化したものを使用

ケ	全 長	5,800 mm以下
	全 幅	2,000 mm以下
	全 高	2,950 mm以下
	ホイールベース	2,800 mm以下
	車両総重量	8,000 kg未満
コ	オルタネータ	24V-100AH 以上
サ	バッテリー	130f41R 型 2個
シ	乗車定員	5名(前部2名、後部3名)
ス	タイヤ	スタッドレスタイヤ アルミホイール チェーン1組付属(金属製)
セ	スペアタイヤ	ホイール付1本(前輪と後輪のホイールが異なる場合は各1本の計2本とする。)
ソ	安全装置	ABS装置 エアバッグ(運転席)
タ	ヘッドライト	LED仕様
チ	車輪灯、ステップ灯	LED仕様
ツ	路肩灯	LED仕様
テ	フォグランプ	LED仕様
ト	ドアミラー	電動格納式、メッキカバー付
ナ	ドア	集中ドアロック、パワーウィンドー
ニ	フロントグリル	メッキ仕様
ヌ	オイルパンヒーター	キャプタイヤコード 10m 1本付き
ネ	エアコン	純正品
ノ	カーナビゲーションシステム	据え付け型(7インチモニター、SDカード) オーディオ AM/FM ラジオ、CD付(TVチューナーレス)
ハ	キャビン内シート	防水性を有する耐久性のあるカバー(特注品)付
ヒ	サイドバイザー	キャビン各ドア上部
フ	泥除けたれゴム	全輪
ヘ	フロアマット	前後席一式
ホ	オイルジャッキ	一式
マ	標準工具	一式
ミ	非常信号灯	一式
ム	停止表示板	一式
メ	車両盗難防止システム	セキュリティ対応のスタートキーを5個 シャッターキー5個 その他でキーを使用する場合は各5個
モ	ドライブレコーダー	一式(モニター付、SDカードタイプ)
ヤ	バックアイモニター	ルームミラータイプ
ユ	ETC車載器	ボイス機能付
ヨ	各操作装置、計器、スイッチ類にはプレート及び照明等を取り付け、名称等を記載すること。	
ラ	エンジン油温計、回転計、アワーメーター等、その他車両の運行に必要な計器類を装備すること。	

### 第3 ポンプの規格、仕様

#### 1 水ポンプ装置 (MZ-I)

##### (1) 水ポンプ

ア ポンプ性能は、駆動エンジンが効率 74kW (100PS) 以上

イ インデューサー付一段ポリユートポンプ又は高圧二段バランスタービンポンプとする。

ウ ポンプ性能は A-2 級で送水圧力は、下記のとおりとする。

0.85MPa において放水量 2,000L/min 以上

1.40MPa において放水量 1,400L/min 以上

(2) 水ポンプ及び圧縮空気泡消火装置 (CAFS) は、シャシエンジンのメーカー純正フルパワー P.T.O (パワーテイクオフ) により駆動され、P.T.O の操作は運転席に設けられたレバー又はスイッチにより行うものとする。

(3) グランド部は、不凍液等を必要としない完全メンテナンスフリーメカニカルシールとする。

#### 2 冷却水装置

(1) ギアケース、補助クーラーへの配管は一系統にまとめ、1 個のコックで調整できること。

(2) 予備回路を設け、主及び予備それぞれストレーナーを備えるものとする。

(3) 冷却水を外部に放出せず水槽へ還流させること。また、自然水利を揚水した場合、水槽へゴミが侵入しないようコック操作により外部へ放出できる構造とすること。

#### 3 真空形成装置 (MEJ-1200)

真空ポンプはスペースの有効利用、軽量化及びメンテナンス性の観点から真空ポンプを用いず、エゼクター方式を用いること。CAFS のコンプレッサーから吐出される空気を利用して真空状態を形成し、揚水できる構造とすること。

操作は押ボタン式スイッチによるものとし、駆動装置は円滑に作動し揚水完了後は自動的に停止すること。

なお、非常用の別系統スイッチ及び、非常用圧力計・連成計を車体右ポンプ操作部付近に設ける。

真空性能：吸管外端閉塞にて 30 秒以内に大気圧の 84%

#### 4 ポンプ不凍装置

専用のタンク (4L) を設け、少量の不凍液を注入しポンプ、コック、バルブ類を含め、常時接水部は凍結を防止する構造とすること。

#### 5 安全機能装置付ポンプ操作装置 (e - モニター)

ポンプ操作装置は操作員が容易に且つ安全にポンプ操作が行える様、次の機能を有するものとし、一つの操作盤 (一体型オールインワンタイプのポンプ操作盤) で全てが行なえるものとする。

(1) 圧力計・連成計 (リタード式) はステッピングモータを用いた電子式 (透過光照明灯・ゲージ部作動確認ランプ付) とし、振動等でも針振れがない構造とする。

(2) ポンプスロットルは電子式スロットルとし、左右どちらでも同方向に回

- 転することによってエンジン回転速度を上げ下げできるものとする。
- (3) ポンプスロットルは、誤作動を防止するための安全ロック機能を設ける。
- (4) 多目的表示液晶ディスプレイは操作盤の中央とし、詳細は以下のとおりとする。
- ア 取り扱い表示（機器取扱・点検整備・故障対策等を文章で表示ができること。）
  - イ モニター表示（警告モニターとして冷却水及び真空ポンプ作動タイムに対する警告表示ができ、なお且つ警報ブザーが鳴るようにすること。また、各ボールコックの開閉状況、揚水・放水の状況確認のできるモニター表示、ポンプ回転計・ポンプ圧力計・ポンプ連成計・流量計を各々デジタル数値によりモニター表示ができること。）
  - ウ 流水表示（各ボールコックの開閉状況、ポンプの運転状況及び放水時における水の流れる状況が把握できる流水表示ができること。）
  - エ CAFS 操作ができること。
- (5) ディスプレイ内の各表示切換は、タッチパネル式又はパネルスイッチ式により行えるものとする。
- (6) 液晶パネルは視認性を考慮し 500 カンデラ以上とし、日中活動時の視認性を確保すること。
- (7) 真空ポンプ操作は非常時に手動操作にて行えるものとする。
- (8) ポンプ操作装置には隊員の安全を確保する為、次の安全機能を設ける。
- ア スロットル固定機能  
不用意にスロットルに触れてもエンジン回転の上昇を防ぐようスロットル固定機能を設ける。但し、固定した場合でも安全方向（スロットルダウン）には操作出来るものとする。
  - イ 自動調圧機能  
ポンプ圧力を任意に設定し、設定圧力以下になった場合は設定圧まで圧力を上昇させ、設定圧以上になった場合は設定圧まで圧力を下げる自動調圧装置をポンプ操作装置内に設ける。また、ポンプ集中操作盤内カラー液晶画面のポンプ本体をワンタッチすることで、設定圧力を7段階（0.4MPa～1.0MPa）呼び出し、ワンタッチで圧力を設定するとスロットル操作なしで設定圧になる機能も有すること。  
なお、操作は圧力調整後に設定する方式と、予め決まった7段階の圧力値をワンタッチで選択設定できる2方式とする。
  - ウ 流量計色分け表示  
操作盤表示の流量計については車体の左右に関わらず、両側面の放水口の流量が確認できること。また、流量の表示は放水操作時の目安となるように、流量によって表示色が変化すること。
  - エ 緊急減圧機能  
左右操作盤にボタン式の緊急減圧スイッチを設け、ボタン作動時は即座にエンジン回転をアイドリングまで下げ、水吐出圧力を減圧する構造とすること。
  - オ CAFS 操作装置  
操作性と誤操作防止を考慮し、本多目的液晶ディスプレイ内で泡放射に関する全ての操作が可能なこととし、タッチパネル式にて操作が出来ることとする。なお、左右両側の操作盤で同様の操作ができる構造とする。

## 6 吸水口（ストレーナ付）

- (1) 消防用ホースに使用する差込式又はねじ式の結合金具及び消防用吸管に使用するねじ式の結合金具の技術上の規格を定める省令（平成 25 年総務省第 23 号）の規定に適合するものであること。
- (2) 吸水口は、消防呼称 75 mmボールコック（スーパースイングエルボ及びストレーナ付き）を車両両側に各 1 個設け、75 mm×10m・反射テープ付のソフト軽量吸管を常時接続する構造とし、連続呼水装置（エジェクター）を装備する。
- (3) 吸管の規格は、消防用吸管の技術上の規格を定める省令（昭和 61 年自治省令第 25 号）によること。
- (4) 排水用ドレンコックを設けること。

## 7 放水口

- (1) 消防用ホースに使用する差込式又はねじ式の結合金具及び消防用吸管に使用するねじ式の結合金具の技術上の規格を定める省令（平成 25 年総務省第 23 号）の規定に適合するものであること。
- (2) 放水口は消防呼称 65 mmボールコックとし、ポンプ室両側に各 2 個設けること。なお、設置する媒介は、すべて 50、65 mmホースに対応できるマルチコネクターとする。
- (3) 排水用ドレンコックを設けること。

## 8 中継口（ストレーナ及びキャップ、チェーン付）

- (1) 消防用ホースに使用する差込式又はねじ式の結合金具及び消防用吸管に使用するねじ式の結合金具の技術上の規格を定める省令（平成 25 年総務省第 23 号）の規定に適合するものであること。
- (2) 中継口は、消防呼称 65 mmボールコック（ストレーナ付き）とし、ポンプ室両側に各 1 個設けること。
- (3) 排水用ドレンコックを設けること。

## 9 流量計

車両両側に各 2 個及び流量積算計を車両両側に各 1 個設ける。なお、流量計の流量の表示はデジタル式とし、流量範囲によって表示色が 3 段階に変化すること。流量範囲とは筒先を一人持ちで放水できる範囲、二人持ちで放水できる範囲、二人持ちでも放水ができない範囲とする。反動力計も併せて設置すること。

## 10 消火泡圧縮吐出装置（CAFS・MMC3800）

- (1) 日本製で、(財)日本消防設備安全センターの性能評定に合格しているものとする。装置は、水ポンプ装置から送られてきた水を利用して、混合器で作られた混合液にコンプレッサーを用いて圧縮空気を送り込み、配管内部で泡状にして発泡できる装置で、少量の水で効率の良い泡消火が出来るものとする。また、気水比が 5～10 倍の消火・火炎鎮圧用湿式泡（ウエット泡）と気水比が 16～20 倍の延焼防止・残火処理用乾式泡（ドライ泡）の 2 種類の泡について、泡管管鎗を用いることなく吐出可能なものとする。

また、水ポンプ装置から高い圧力を受けても 0.7MPa に減圧される構造とする。

(2) 性能

最大水流量 600L/min 以上、最大空気吐出量 3,200L/min 以上とし、最大泡吐出量 3,800L/min 以上とする。

(3) 構造

ア 本装置の操作については、車体左右のポンプ操作盤液晶ディスプレイ内で泡放射に関する全ての操作が可能なこととし、タッチパネル式にて操作が出来ることとする。なお、左右両側の操作盤で同様の操作ができる構造とする。

イ 湿式泡と乾式泡の切替え操作及び泡原液の混合比の変更は、ポンプ操作盤液晶ディスプレイ内にてワンタッチで行えるものとする。なお、泡質の切替え及び発泡倍率の変更操作は放水中でも可能なこと。

ウ 泡放射並びに混合液の放射については自然水利、消火栓、中継水利、自車水槽のいずれの水利においても支障無く放射が出来る構造とすること。

エ メンテナンス製を考慮し、サイド P. T. O は使用せず、水ポンプ駆動用フルパワー P. T. O を動力とすること。

(4) コンプレッサー

ア オイル循環式のロータリースクリュー型コンプレッサーとし、コンプレッサーの潤滑油は補助冷却器により冷却する構造とする。なお、補助冷却器は圧力水の一部の水により冷却されるものとする。

イ コンプレッサーはメンテナンスを考慮し国産製品とする。

ウ コンプレッサーはスペースの有効利用のため真空形成装置兼用とする。

エ コンプレッサーの油温上昇を警告するブザー等を設けること。

オ コンプレッサーの冷却に使用した水は水槽へ還流するものとする。また、切替えにより車外にも排出できる構造とすること。

(5) 混合装置

圧縮空気流量を感知して、コンピュータ演算により自動的に泡原液量を調整して混合比設定する電子式比例混合式とする。混合比は液晶ディスプレイ内でワンタッチにて変更可能なこと。なお、混合比の変更は放水中でも可能なこと。

(6) 泡原液 (クラス A)

環境に優しい環境保全型消火剤とし、ポンプ室内に交換容易なポリタンク (20L) 式の原液容器を設置する。消火作業中の泡原液の補給を容易に行なえるよう、固定型の原液槽は設けないこと。また、吸液コックの操作で外部吸液と切替えでき、原液吸入口及び補給口には専用のチェーン付きオスキャップを設置すること。

(7) 装置 (コンプレッサー、混合装置等)

ア 全てポンプ室内に収納し、速消ボックスや後部シャッターボックス等、各ボックス内のスペースを減少させることなく、ホースや資機材を積載できること。本装置での泡消火作業は、ポンプ室左右前側の水ポンプ吐水口を使用し、コック操作により、容易に泡放射と水放水の切替えが可能な配管構造とする。なお、隊員の現場での操作性及び誤操作防止のためにも、消火泡吐出口を専用で設けないこと。

イ 中継送水を考慮し、水と泡原液のみを混合し、混合液のみの放射も可

能な構造とすること。なお、操作はポンプ操作盤液晶ディスプレイ内にて行える構造とすること。

ウ 消火活動中、車載の泡薬剤容器の泡薬剤が少なくなった場合において、予備の薬剤容器より薬剤を吸液できること。

エ 泡放射を行わない場合においては、予備薬剤容器から車載薬剤容器に吸液量の善良を補充できる構造であること。

## 11 水槽及び配管

(1) 容量 600L 水槽とすること。

(2) 材質については永年使用及び軽量化を考慮し、腐食に強いFRP製とする。

(3) 積水口を左右に各1口設ける。(逆止弁、キャップ、チェーン付)

(4) タンク破裂を防止するため、内圧を下げるに十分なオーバーフロー用パイプを設ける。

(5) 水量計(保護管、排水コック、排水ビニールパイプ)を左右に取り付けること。内部には浮子を入れ、側部に目盛りを表示し水量を分かり易くするとともに、専用の照明灯を設置すること。(詳細を当消防本部と協議すること。)

(6) タンク吸水口については、電動コックを使用しポンプ操作装置のディスプレイ内で操作可能にする。電動コックについては、緊急時手動操作が車外より行なえること。

(7) 水槽上部にマンホール、下部にドレンバルブを設けメンテナンスが容易に行えること。

(8) 配管は「災害対応特殊消防ポンプ自動車」と同等品とし、緩衝装置を施し可能な限りステンレス製とすること。

## 第4 車両の艤装

### 1 車体の構造

(1) キャビンの構造と艤装

ア キャビンは鋼板及び軽量かつ十分な強度を有し、耐熱性、耐紫外線性に優れたFRP素材を複合したキャブオーバーダブルキャブ型とする。

イ キャビン天井部はFRP製ハイルーフ(約200mm程度上げる)とし、居住性に優れた構造とする。

ウ キャビン後部は張出式、キャビン上部の赤色警光灯は埋込式とし、キャビン天井部と一体型で形成された構造とする。

エ キャビン天井FRP素材部左右に標識灯を埋込式にて取付ける。

オ キャビン前面の車両メーカーエンブレムを取外し、消防章を取付ける。(直径150mm程度、アルミ製架台黒色)

カ 鉄製フロントバンパー(アルミ縞板付き)を前出しとし、赤色点滅灯を左右に取付けること。また、内部に牽引フックを設けること。

キ キャビン左右センターピラーに安全の確保に必要な乗降用のステンレス製手摺を設ける。

ク キャビン内前座席上部に電子サイレンアンプ、無線機、電動サイレン及び機能集中操作スイッチ(大阪サイレン製 SBW-100 10連スイッチ)を設置すること。(形状、配置、デザインは当消防本部と協議すること。)

- ケ キャビン内、運転、助手席窓上部に LED サージカルマップランプを取り付け、中央上部に大型デジタル時計を設置すること。
- コ キャビン内後部席中央部に埋込式角型 LED 照明灯を設けること。
- サ 衛生面から消火資機材との混載を避ける必要がある救急機材や、車体内には積載に不都合のあるカメラ類等を、消火資機材と別に搭載出来るようキャビン内中央上部に小物入れ用収納棚を設けること。手前には脱落防止用のゴム製ネットを設けること。
- シ キャビン内後部座席前方に走行時における安全確保用の手摺り（S 字フック 5 個付）を設け、書類収納ボックス（A3 対応）を取付けること。
- ス 助手席シートは呼吸器埋め込み型とする。後部座席は、空気呼吸器取付装置（クイックホルダー）と上部に面体掛けフック 3 組を取り付け、上部天井面に金属棚を設けること。
- セ 後部座席のシートは、取り外しができるようにし、その下部は右側を小物器材の収納ボックス、左側をバッテリー充電装置及び車両運用端末装置設置ボックスとすること。
- ソ キャビン内の全部のシートに、防水性を有する耐久性のあるカバーを取付けること。
- タ 各ドアのフェンダー部及び、蹴込み部分にアルミ製保護板を貼ること。
- チ 各ドアの下にステップ灯（LED 仕様）を取り付けること。
- ツ エンジン点検用の照明灯を設けること。
- テ エンジン始動用メインキーにより取り付け品、電装品の電源が一括切斷できる構造とすること。ステップ灯も消灯する構造とすること。
- ト バッテリーメインスイッチを設けること。
- ナ キャビンの構造はエンジン等の点検手入りを容易にするため電動チルト装置付とする。
- ニ 各ドアにサイドバイザーをそれぞれ取り付けること。
- ヌ キャビン内部の座席は、前部 2 人、後部 3 人の 5 人用とし、安全に乗車できる座席を設け、運転席と助手席の間は携帯無線機、防水ライト及び地図、書類等が入るコンソールボックスを設置し、付近に交流 100V（正弦波・最大出力 700W）コンセントを設置する。（形状、配置、デザインは当消防本部と協議すること。）
- ネ 運転席と助手席間前方ダッシュボード付近に、車両運用端末装置用の設置台を設け取り付けるものとする。
- ノ キャビン内天井部は内張りを施し、電装品、配線等の点検が容易に行えるよう要所ごとにボタン式にて開放できること。
- ハ 助手席床の適宜な位置に、電動サイレン用足踏み 1 段スイッチ及び誤作動防止カバーを取り付け、使用時容易にカバーを外せること。なお、電動サイレンは赤色警光灯が点灯している場合のみ吹鳴するものとする。
- ヒ キャビンの屋根に無線機用アンテナ（デジタル用）及び AVM アンテナを設置すること。
- フ FRP 製の天井に、無線設備のアンテナ（デジタル用）を設置することから、設置部分を鋼板等により外部の刺激に耐えられるよう強固に補強すること。なお、車両ボディアースを普通車両と同等に取れる構造とすること。
- ヘ 前後の赤色点滅灯を消灯させる専用スイッチを設けること。（詳細を当

消防本部と協議すること。

ホ キャビン内の天井に携帯拡声器の吊り下げ式固定装置を2個設けること。

## (2) 後部車体艤装及び取付品

### 【共通事項】

ア 艤装は総合的な重量軽減を図り、車両重量のバランスを考慮して製作する。

イ 車両の重要な点検箇所及び主要な部分の点検整備に関して、工具類を使用する為のスペースを確保すると共に、必要箇所には点検口または点検扉を設け、点検・給油等が容易に出来る構造とすること。

ウ 車両側板は一般構造用圧延鋼材（SS）厚さ 1.6 mm以上を使用し、周囲を外側に折り曲げ加工するとともに、つなぎ部から水の侵入がないよう措置を講ずること。各ステップはアルミ縞板張りとし、端部周辺を折り曲げ加工した構造で、鋼材溶接部分にはステンレス製のカバーを貼り、併せ部分が露出しないこと。

エ 塗装面に傷の付くおそれのある上向きの角部分、各コーナー部、後部フェンダー等はアルミ又はステンレス製の板で保護すること。（詳細は当消防本部と協議すること。）

オ 梯子昇降装置ロックピン等の金属同士が接する部分は、塗装品ではなくステンレスで施工すること。（詳細は当消防本部と協議・検討し設計すること。）

カ ボディ形状は箱型ボディとし、左右側面各2枚、背面1枚の手動式アルミシャッター（バーシャッタータイプ）とする。（詳細は消防本部と協議・検討し設計すること。）

キ シャッター巻き取り時のキズ防止対策として、直下にステンレス製保護板を取り付けるとともに、資機材積み下ろし時における縦レールとの干渉防止処置を内側に施すこと。（詳細は消防本部と協議すること。）

ク 車体の骨組みや板材の切断末端には、危険防止の面取りを施し、飛び出しボルト類は短く切断するなどの工作を行うこと。

ケ 各部に露出する部分で扉の蝶番等に、ステンレス又はアルミを使用していないものについては、良質のクロームメッキを施すものとし、ボルト・ナット・リベット類はステンレス製のものを使用すること。

コ ポンプ室は密閉式とし、点検手入れが容易に行える構造とする。

サ 燃料タンクは、シャシ固有の位置に取り付けること。

シ 各ボックス内にはスノコ板を敷くこと。

ス ナイロン製ベルトは劣化を考慮し、設置してある数と同じ数を予備として積載すること。

セ 艤装時の溶接部分で特に下回り部には下回り用の塗装を施し、錆の発生防止に十分配慮すること。また、隙間等に充填するコーキング類は黒色とする。

ソ シャッターの開閉状況が、キャビン内で確認できる装置を設置すること。

タ ここに記載されていない各器具積載位置、積載方法、ラッチ扉、ローラーパイプ、ブラケット、ベルト等については、当消防本部担当員と詳細に協議し、必要部品（金具等）を用いた設計書を作成し承認を得ること。

と。

【側面】

- チ ボディ前方下部左に 1 枚の展開式扉付収納ボックスを設ける。なお、扉はステップとして使用でき、チェーンレス 2 重ロック構造とし、サイドに塗装の剥がれを防止するステンレス製のエッジカバーを 3 面に貼り、その上に反射テープを貼り付けること。  
また、扉内に水が浸入しないようステンレス材にて塞ぐ処置を講ずること。(詳細は当消防本部と協議すること。)
- ツ ボディ中央部は、資機材を積載する収納室とし、下 3 分の 2、上 3 分の 1 の 2 段 (上下可動式) で区切るとともに、下段は中央部で 50 mm ホースが通り抜けない間隔を考慮しながら脱着式のパイプ 3 本で区切ること。上段は左右貫通型とし、左右にオートラッチ等を有したアルミ縞板製扉を設置すること。また、下段は島田巻きホースボックスと使用することから、両側入口の左右及び底面にローラーパイプと、中央にナイロン製ベルト 2 本を縦型に設置しホースの脱落防止を図ること。
- テ バッテリーは点検が容易なステンレス製引き出し装置式とすること。(詳細は当消防本部と協議・検討し設計すること。)
- ト 吐出口・吸水口・中継口・積水口は、ボディ前方左右のアルミシャッター内に設ける。
- ナ 各操作部 (ハンドル、レバー、スイッチ等) には、名称および操作方法等を明記すること。
- ニ 路肩灯を左右 1 箇所 (後輪前) 取付けること。(消灯スイッチ付)
- ヌ 車体後部左右に車幅灯を各 1 個取り付け、スイッチはシャシスマールランプと連動とすること。
- ネ ゴム製の車輪止 2 個のブラケットを、車両右側のキャビンに近い位置に設置すること。ブラケットはステンレス又はアルミ製とし、脱落防止ワンタッチロックを設置し、走行中に落下しない、且つ、取り出しが容易にできる構造とすること。
- ノ 車体の左右に、車外無線送受話器、車両運用端末装置の外部設定器及び拡声器付電子サイレン用マイクの収納スペースを区切るために、四角の枠 (高さ 100 mm 程度、LED 照明付) を設置するとともに、付近に A4 サイズが収納可能な書類ケースを設置すること。(設置位置は当消防本部と協議・検討し設計すること。)
- ハ ステップ上、両側面、後輪フェンダー部、背面の各収納ボックス内は、防錆塗装のほか、排水管等の措置を講ずること。
- ヒ 消火栓バルブキー、水利開閉パール (稲敷式パール) を固定金具にて設置すること。また、ボディ後方左右側面は吸管収納スペースとし、内部の必要な箇所はキズ防止のためアルミ保護板を貼ること。(設置位置は消防本部と協議・検討し設計すること。)
- フ 吸管巻き中央にスタンドパイプ、吸管スパナ、消火器 (20 型) を、固定金具止めにより取付けること。(設置位置は消防本部と協議・検討し設計すること。)
- ヘ サイドステップはキャビン後部ドア下部まで延長し、エプロン厚さ 1.2 mm 以上の艤装材料を使用し、取り付けること。
- ホ 左右ポンプ操作部上部には、操作盤照明灯 (LED) を各 1 個取付けるこ

と。

【上部】

- マ ボディ天井部はアルミ縞板張りとし、周囲の側面に 30 mm～50 mm被せること。
- ミ 車体の上部左側に、梯子昇降装置を設けチタン製 3 連梯子を積載すること。昇降装置のキャビン方向へのはみ出し長さは、昇降装置を移動せずにキャビンをチルトアップできる長さとし、昇降方法は地上から装置を引き出し回転式にて梯子を降ろせる構造とすること。収納時はロック装置が振動等により自然解除しないために、補助ロック装置を設けること。  
なお、昇降装置の梯子積載面最後部に取付ける取っ手及びロック装置の構造材には、塗装ではなくメッキを施すか、ステンレス材で製作すること。（詳細は当消防本部と協議・検討し設計すること。）
- ム 梯子昇降装置にトビロを 2 本積載できる留め金を設置し、梯子と連動で昇降出来ること。なお、トビロの留め金には補助ロック装置を設け、留め金が開いてもトビロが脱落しない構造とすること。また、先端部が接触する部分は傷防止のステンレス板を設置するとともに、周囲に操作員負傷防止用のステンレス製保護枠を設置すること。（詳細は当消防本部と協議・検討し設計すること。）
- メ 車体上部に最大限の大きさのアルミ収納ボックスを 2 個設けること。
- モ 天井には積載した資器材の転落防止処置を兼ねて、前部に 2 段手すり、側部に 1 段手すり付アオリを設け、後部に 1 段手摺を設けること。
- ヤ ボディ天井の左右両側面のアオリに作業灯（LED）及び赤色点滅灯を各 2 個取り付けること。（詳細は当消防本部と協議・検討し設計すること。）
- ユ ボディ天井にサーチライト 2 個（右前部に手動伸縮式高輝度 LED 投光器 1 個ガード付、後部中央に高輝度 LED 投光器 1 個を設置）を設置すること。

【背面】

- ヨ 車体後部にホースカー（箱型・65 mm及び 50 mm管そうを 2 本装備する金具、二又分岐取付け金具、媒介金具取付け金具、防水カバー付）を、油圧式自動昇降装置にて積載するものとし、車体への固定は安全確実で、かつ、迅速に取り付け、取り外しができる構造とすること。  
また、その上部に昇降装置と連動する収納ボックスを設けること。収納ボックスには扉を設置する等の資機材脱落防止処置を施すこと。昇降装置はトラブル発生時に手動操作が可能な構造とし、車両下回りからの埃の浸入防止の処置を施すこと。なお、夜間において内部全体が目視できる照明灯を設置すること。
- ラ 赤色点滅灯及び作業灯を左右に各 1 個に取付け、赤色点滅灯は赤色警光灯と連動すること。
- リ 車両後部にナンバープレート、左側下方にバッテリー充電装置のマグネット式コンセントを扉付で埋め込むこと。（詳細は当消防本部と協議すること。）
- ル 車体背面右側に昇降用のアルミ製展開式梯子を取付けること。梯子は横棧に滑り止めを設け、手すりの上端をできるだけ高くして安全性を図り、背面の梯子取付け蹴込み面には、アルミ小すじ板を貼り付けること。

取り付け面はより強固なボルト 3 点以上止めとすること。(詳細は当消防本部と協議すること。)

#### 【下部】

レ ポンプドレン電磁開閉バルブ等の設置位置は、地上高 400 mm程度とする。(詳細は当消防本部と協議・検討し設計すること。)

#### ロ フェンダー

### (3) 各照明類の取付け要領

ア 車両前後にそれぞれ 2 個の赤色点滅灯を取付けること。前方はバンパー、後方は背面上部に保護枠付とし、LED 高輝度型とする。

イ 車両後部テールランプ、方向指示器、バックランプ、車幅灯は玉切れの際、交換が容易に行えること。

ウ 上記のほか、取付ける照明類の内訳は次のとおりとする。(後方車体構造と重複している部分もあります。)

- |  |   |
|--|---|
| (ア) 操作盤照明灯   | 必要数   |
| (イ) 作業灯  | 6 個 (車体後方左右に各 2 個、背部に 2 個、全て LED 高輝度型、保護枠付) |
| (ウ) サーチライト   | 2 個 (天井右前部に手動伸縮式高輝度 LED 投光器 1 個、後部に 1 個)    |
| (エ) ボックス内灯   | 必要数 (LED 仕様とし、各収納庫内等の照度を十分に保つこと。)           |
| (オ) 路肩灯  | 2 個 (LED 保護枠付)                              |
| (カ) ステップ灯  | 4 個 (キャビン各ドア下方、LED 仕様)                      |
| (キ) 水量計照明灯   | 2 個 (両側水量計上部各 1 個、LED 仕様)                   |
| (ク) その他、シャッター開閉確認灯、パイロットランプ類はキャビン内コンソールボックス部に設置する。 |   |
| (ケ) 艀装に用いる照明、ランプ等についてはすべて LED 仕様とし、不能である場合は申し出ること。 |   |

## 2 塗装、メッキ

- (1) 車体は特殊化学液にて錆び落としのうえ、リン酸塩被膜を形成後、プライマー、パテ、水磨き、サフェーサーを行い、熱風乾燥炉にて乾燥させてから赤色ウレタン塗料にて吹き付けを行い、再び熱風乾燥炉にて乾燥させる。(シャッター部も赤色塗装とする。)
- (2) 床板、各ステップ、器材収納室天井板は、アルミ縞板とする。接合部は、雨水の浸入がないよう十分に処理すること。
- (3) 車体下回りは、黒色塗装とする。錆やすい場所には、ワックス被膜防錆塗料を塗布すること。また、艀装溶接終了後にも同様の塗装を施し仕上げること。
- (4) 全ホイールはメーカー標準色とし、塗装はしない。
- (5) 納入後 3 年以内に塗装及びメッキ部分に、はなはだしい変色、亀裂、剥離、浮き上がり等が生じたときは、再塗装及び再メッキをすること。

## 3 通信関係

- (1) 無線電話関係 (既存設備を移設積載する。)  
機種：消防専用電話装置 (デジタル)

型式：VM1154LD 単信方式

- ア 当消防本部の指定する無線機業者と設置方法について十分に調整し、全てを取り付け完了後に、無線試験交信を行い納車すること。機器の位置は、無線機本体を運転席上部とし送受信機は助手席直近する。車体の左右に設置するスピーカーは機関員が聴き取り易い方向に向けた埋め込みとし、車外無線送受話器を金具側板に直付けで設置する。
  - イ 無線の設置に係る工事費用は、この指定する無線業者と協議するとともに、配線、電源等の工事を受注者の工場にて行うこと。
  - ウ 無線機本体は既設設備を移設するが、アンテナ、ケーブル、車内及びポンプ室のスピーカー、ハンドセット、ハンドセット金具、その他無線運用に必要な機器は新品を設置すること。(必要に応じ受注者の工場にて艤装時に設置)
  - エ 更新前車両は廃車とするため、新車両への移設のみとする。
  - オ 移設に関する全ての費用は、受注者が負担するものとする。
  - カ 詳細については別に定める消防専用無線電話装置の仕様書のとおりである。
- (2) 車両運用端末装置Ⅲ型(既存設備を移設する。)
- ア 当消防本部の指定する無線機業者と設置方法について十分に調整すると。
  - イ 機器の位置は、モニターを運転席と助手席間のコンソールボックス先端に設置する。また、車体の左右に設置する外部設定器は機関員が操作しやすい位置に設置する。
  - ウ 設備の設置に係る工事費用は、この指定する無線業者と協議するとともに、配線、電源等の工事を受注者の工場にて行うこと。
  - エ アンテナ配線の引き込みは必ず受注者の工場にて艤装時に行い、キャビン周囲に配線が露出しないようにすること。
  - オ 移設に関する全ての費用は、受注者が負担するものとする。
- (3) 無線機等を移設する場合の作業範囲は次のとおりとする。なお、機器の取り付け位置、貫通部の位置、その他の質疑が生じた場合は、当消防本部担当者の指示を受けること。
- ア 無線機の事前動作試験及び既設車両からの取り外し
  - イ 新規車両へ無線機の取り付け及び単体動作試験
  - ウ 新規車両へのAVMの取り付け及び単体動作試験
  - エ 無線機とAVMとの接続
  - オ 接続後のAVM動作試験
  - カ 接続後の無線試験交信
- (4) 設置作業が完了したら当消防本部担当者に申し出て、完了検査を受けること。
- (5) 設置作業後1年以内に生じた故障、不具合等で、明らかに受注者の責任とみなされるものは無償で修理を行うものとする。
- (6) 本仕様書に明記されていない事項で質疑が生じた場合は、双方協議のうえ決定する。

#### 4 文字記入(詳細は別途協議を行うこと。)

- (1) ドア両側面に左側から右側に向かって「稲敷広域消防本部」と記入する。

- ア 書 体 丸ゴシック体
  - イ 文字塗色 白色文字
  - ウ 文字サイズ 120 mm 太字
  - エ 記入幅 ドア形状による。
- (2) 後部側面・背面シャッターへは次のとおりとする。左右2面シャッターに「INASHIKIF. P. D. OHTOH」「CAFS」「茨城県」及び背面シャッター中央上部に「INASHIKIF. P. D. OHTOH」とそれぞれ記入する。
- ア 書 体 IMPACT 太字
  - イ 文字塗色 白色文字
  - ウ 文字サイズ シャッターサイズによる。
  - エ 記入幅 シャッターサイズによる。
- (3) 標識灯は、左から右に向かって「稲敷 56」と記入する。
- ア 書 体 丸ゴシック体
  - イ 文字塗色 黒色文字
  - ウ 文字サイズ 標識灯サイズによる。
  - エ 記入幅 標識灯サイズによる。
- (4) 対空標識は、車両キャビン天井部に「稲敷 56」と記入する。
- ア 書 体 丸ゴシック体
  - イ 文字塗色 白色文字
  - ウ 文字サイズ 1文字1辺 500 mm以上（屋根サイズに合わせる）太字
- (5) 各文字の記入は、事前に当消防本部の承認を得ること。

## 第5 検査及び提出書類

### 1 進捗状況

進捗状況を示す書類、写真1部を提出する。なお、報告日時等は当消防本部と打ち合わせを行うこと。

### 2 検査

検査は中間検査及び納入時の完成検査とする。

#### (1) 中間検査

製作工程中に当消防本部担当者が工場に出向し、次の項目について実施する。

- ア 車体の検査
- イ 艤装の検査
- ウ その他当消防本部が指示するもの

#### (2) 完成検査

消防本部が立会いの上、次の項目について実施する。

- ア 車体の検査
- イ 艤装の検査
- ウ 装備品・積載品・付属品
- エ その他当消防本部が指示するもの

(3) 上記以外に当消防本部、受注者がそれぞれ必要と認めるときは、特別検査をできるものとする。但し、実施にあたっては事前に相互連絡を取り合うものとする。

(4) 受注者は、試験及び検査を通じ、不具合があると指摘された部分のやり直し又は修復について最善をつくすとともに、再検査を受けなければならない

- い。納入に至るまでの検査及び故障、修理に要した費用は受注者の負担とする。
- (5) 受注者は、製作前において本仕様書の全般を確認し、用途が十分に果たせられるものとし、次の資料をA4ファイルに綴り込みインデックスを貼付し提出するものとする。

【制作承認図書】

ア	制作工程表	3部
イ	諸元明細表シャシ ポンプ関係	3部
ウ	車両艤装図面（艤装5面図）	3部
エ	装備取り付け図	3部
オ	電気配線図	3部
カ	ポンプ装置関係図	3部
キ	ポンプ配管系統図	3部
ク	水槽関係図	3部
ケ	シャシ関係図書	3部
コ	その他当消防本部が指示するもの	各3部

- (6) 納車時において本仕様書に基づくほか、各種機器検査を実施し、その結果不適と認められた箇所については、直ちに修復の上再検査を受けなければならない。

なお、納車時の提出書類については下記のとおりとし、A4クリアファイルに整理し提出するものとする。

ア	資機材配置完成図	2部
イ	水・真空ポンプ性能検査成績表	2部
ウ	消防車諸元表	2部
エ	車庫証明書	1部
オ	車検証写し	1部
カ	完成写真	2部

(ア) 制作工程に基づくシャシから完成車までの状況を撮影したもの。

(イ) 塗装状況が確認できるもの。

(ウ) 付属品を撮影したもの。

(エ) 前記総則に記載した完成車検査写真

キ	緊急自動車届出書	1部
ク	車両・ポンプ取扱説明書	1部
ケ	各種機器取扱説明書	1部
コ	各種保証書	1部
サ	受諾評価合格証票の写し	2部
シ	パーツリスト	2部
ス	納品書（明細価格入り）	1部

## 第6 補則

- 1 補則については次のとおりとする。

- (1) 本仕様書は概要を示すものであるから、記載のない事項であっても新規格（排ガス規制等含む）に基づき、消防ポンプ車として機能操作上、当然具備しなければならない事項はこれを充足するとともに、メーカーが公表した標準艤装はすべて施すこと。また、装備品等については軽量かつ、堅固な材

質を利用し長期の使用に耐え得ること。仕様書に明記されていない事項、質疑及び変更が生じた場合は、当消防本部と協議し指示を受けること。

- (2) 本仕様書で指定した形式以外の資機材を積載する場合は、当消防本部と協議し同等品以上とすること。
- (3) 製作の一部を他の者に外注する場合は、この仕様書を満足するように当該業者を監督すること。
- (4) 受注者は、納入時に専門技術員を派遣し、車両及び積載機器の点検整備、使用方法について、詳細な資料を準備し十分な説明を行うこと。
- (5) 車両新規登録及び緊急自動車届出事務等は、全て受注者がこれを行うこと。
- (6) 受注者は納入まで責任を持って行動し、検定等はこれを代行するとともに、合格後に新規登録し納入する。また、これに係る費用は受注者負担とする。
- (7) 通信機器等の取り付け、配線等の細部については、受注者、関係業者、当消防本部の三者で協議すること。
- (8) 製作に際し、仕様内容に疑義が生じた場合は、速やかに協議し承認を受けるものとする。
- (9) 車両の保証期間は1年間とし、取り付け装置、付属品等については、メーカー公表の期間とする。  
但し、保証期間経過後であっても、機装又は材料不良に起因する故障等にあつては、無償でこれを取替え又は修理するものとする。  
また、1ヶ月点検又は1,000 km点検に伴うオイル及びオイルエレメント交換を受注者負担で行うものとする。  
なお、本交換の際に使用するオイル及びオイルエレメントは本仕様書別表にて指定し、納品するものを使用することとする。
- (10) 完成車両納車時は各部の清掃、注油及び点検を行い、燃料を満タンとすること。  
また、各種オイル、燃料等を必要とする資機材については、給油し始動可能な状態とするとともに、乾電池類は必要数を準備すること。
- (11) シヤシ用予備ヒューズ、予備電球、積載品用補充油脂、塗装（全色）補修用ペイントを準備すること。（量にあつては適量を当消防本部と協議する。）
- (12) 車両番号は「26 - 56」を指定する。  
各資機材収納ケースには「稲敷広域消防本部」と名入れをすること。
- (13) 契約後の車両製作協議議事録を受注者が作成し、1週間以内に当消防本部に提出すること。
- (14) 旧車両の廃車費用は受注者が負担するものとし、処分については当消防本部の指示を受けること。

## 車両及び取付品等内訳

### 1 車 両

No.	品 名	数量	備 考
1	シ ャ シ	一式	3 t 級 四輪駆動車 新長期排ガス規制適合車
2	標 準 艀 装	一式	

### 2 取付品及び取付装置

No.	品 名	型 式 ・ 規 格	数量
1	ポ ン プ 圧 力 計	100mm 丸形 ポンプ室左右各 1 個 透過光照明灯	2 個
2	ポ ン プ 連 成 計	リタード式 ポンプ室左右各 1 個 透過光照明灯	2 個
3	エ ン ジ ン 回 転 計	シャシ固有	1 個
4	エ ン ジ ン 油 温 計	シャシ固有	1 個
5	赤 色 警 光 灯	埋め込み点滅式、別途協議	1 式
6	電子サイレンアンプ	大阪サイレン TSK-D152 (消防署) オプションメッセージ (指定 5 種)	1 式
7	照明灯 (サーチライト)	後部車体天上右前部 手動伸縮式 ウィレン PCP224-P 後部中央 ウィレン PFP-124DD	各 1 式
8	後 退 警 報 器	シャシ固定	1 式
9	標 識 灯	キャビン両側 (ハイルーフ内蔵型)	1 式

### 3 軽微な変更として備えることのできる取付品及び装置

1	GPS ナビゲーションシステム		1 式
2	電動 (モーター) サイレン	大阪サイレン 6 SA 型	1 式
3	ポンプ回転計	デジタル式	2 個
4	呼吸器用クイックホルダー	キャビン内後部空気呼吸器積載装置	4 式
5	キャブチルト装置	シャシ固有	1 式
6	オイルパンヒーター	キャブタイヤコード 10m 1 本付	1 式
7	不凍液注入装置	ポンプ、コック類	1 式
8	スタッドレスタイヤ		6 本
9	作 業 灯	ウィレン SUPER-LED (防滴型) (両側面) MYSW-L880H-W (背面) M6ZC24 (メッキ仕様, 保護枠付)	各 2 個
10	車外無線送受信器取出口	両側面	2 個

### 3 備えなければならない附属品

No.	品 名	型 式 ・ 規 格	数 量
1	吸 管	軽量 75mm×10m ライフレックス LF-RS 型 (1本については、車両左側の手動式吸管 巻取り装置に設置し、他の1本の取付位置 は協議とする)	2本
2	吸口ストレーナー	プラスチック製	2個
3	吸管ストレーナー	プラスチック製	2個
4	吸管ちりよけ籠	プラスチック製	2個
5	吸 管 枕 木	ゴム製	2個
6	吸 管 ロ ー プ	10mm×15m	2本
7	消 火 栓 金 具	75mm メスネジ×65mm 差込メス プロテクター付	1個
8	中継口媒介金具	65mm メスネジ×65mm 差込メス	2個
9	消火栓開閉金具	バルブキー Φ19×900×持ち手 300 mm	1式
10	吸 管 ス パ ナ	別途協議	2丁
11	管 そ う	無反動・PL-65A (ヨネ)	1本
		無反動・PL-50A (ヨネ)	1本
12	ノ ズ ル	NV-65W-II (ヨネ・ダブコンマークII)	1個
		エコファイターノズル (モリタ)	1本
		ストレートノズル (専用ブラケット設置)	1個
13	放 口 媒 介 金 具	マルチコネクト (ヨネ) 65 mmメスネジ×65 mm差込オス	4個
14	と び 口	1.8m (柄グラスファイバー製)	2本
15	金 て こ	別途協議	1丁
16	剣 先 ス コ ッ プ	柄金属製	1丁
17	ホース延長用資機材	箱型ホースカー 電動	1台
18	三 連 梯 子	チタン製 8.7m 日本消防梯子 (株) 製	1脚
19	車 輪 止	ゴム製、固定金具 (ステンレス又はアルミ製) にて積載	2個
20	消 火 器	自動車用 (ABC 粉末 6Kg 入) 20 型	1本
21	ポ ン プ 工 具	ポンプメーカー純正品	1式
22	消防用ホース	キンパイ SP-aya-AA 65mm	30本

### 4 軽微な変更として備えることのできる附属品

1	タイヤチェーン		1式
2	分岐管 (二又分岐)	MC 分岐ボールバルブ WB-65MC (ヨネ)	1個
3	ホースブリッジ	ゴム製 L-460	1組
4	ワイヤーロープ	牽引用両端トヨロック加工 16mm×5m (玉掛け用)	1本
5	照 明 器 具	発電機 ホンダ EU9i	1式
		投光器 ML004G (コード付)	
		コードリール (屋外・防雨型)	

		ライト用三脚	
6	斧	別途協議	1丁
7	掛 矢		1丁
8	スタンドパイプ	PS-65S 離脱式 715 mm	1本
9	特殊ノズル	エコファイターノズル (モリタ)	1本
10	特殊ノズル用ホース	キンパイ SP-aya-AA 50mm	4本

## 5 その他の附属品

1	赤 色 点 滅 灯	(前面) TIRZ500LA24 (メッキ仕様, 保護枠付)	2個
		(側面) M7FCR24 (メッキ仕様, 保護枠付)	4個
		(背面) 600LF8DW24 (メッキ仕様, 保護枠付き) ※フラッシャーリレー一式含む	2個
2	ポンプ室照明灯	左右ポンプ計器盤上部 (LED仕様)	2個
3	ステップ灯	防滴型 LED仕様	4個
4	フェンダー内灯	防滴型 LED仕様 展開式フェンダー内	2個
5	路 肩 灯	防滴型 LED仕様 両側後輪前後部 保護枠付	2個
6	バッテリー充電装置	マグネット式専用コード 10m付	1式
7	100V コンセント	キャビン内指定位置に取付け	1口
8	各パイロットランプ	コンソール	1式
9	各ボックス内照明	前収納庫へ各2個 (LED保護枠付)	必要数
10	サイドバイザー	各ドア純正品	4枚
11	シートカバー	全座席ビニールレザー製	1式
12	消防用無線装置移設	消防用デジタル車載型無線機	1式
13	車両運用端末装置移設	車両運用端末装置Ⅲ型	1式
14	鉄線カッター	絶縁ボルトクリッパーBC600-FN	1丁
15	送水基準版		2個
16	ホースクランプ	東京サイレン TS-6003	1個
17	ホースバンド・バンデージ	バンド OH-1型	5個
		バンデージ HB-100	5個
18	予備ヒューズ、ランプ	車両メーカー純正品	必要数
19	フロアマット	車両メーカー純正品	1式
20	携帯用ライト	ウェット (ブラック) 068B※乾電池式	2個
21	ハンマー	NIKKO MT002B	1個
22	T字バール	T字型消火栓キー	1個
23	機能集中操作スイッチ	大阪サイレン SBW-D1 10連スイッチ	1式
24	水利蓋開閉バール	日之出式 36型	1個
25	吸管ストレーナー一体型藤かご	控網付きストかご	2個
26	消 火 薬 剤	マルチA	5缶
27	弁 慶	サイズ (大)	1丁

28	背負い式消火器具	バルファースト	3式
29	特殊ノズル用ホース	キンパイ SP-aya-AA 50mm	26本
30	エンジンオイル	20L ペール缶 新車点検用	1缶
31	オイルエレメント	新車点検用	1個
32	消火栓金具	75mm メスネジ×65mm 差込メス プロテクター付	1個
33	ワイヤーロープ	牽引用両端トヨロック加工 16mm×10m (玉掛け用)	1本
34	フラットカート	フラットカート 2×4	3台
35	フルハーネス	藤井電工 TH5640T-0T	1個
36	ホース結束ベルト	BULLRESCUE BE-009	6個
37	ワーニングライト	FSJAPAN 023-148-068	3セット
38	スタテックロープバック	Xmonster G102 - 35	2袋
39	ディスクストレナー	トーハツ フローティングストレナー	1個
40	チルホールワイヤー	チルホール TU-16 専用 20m	1本
41	モバイルフォールアレスター	ペツル アサップロック	2個
42	ランヤード	ペツル アサップソーバー	4本
43	カラビナ	ペツル エーエムデ M34A	2個
44	空気呼吸器	ドレーゲル AIR Boss	4器
45	空気ボンベ	ウルトレッサ SLT - 1082S	4器

